

台湾デジタルプロモーション事業実施業務 評価基準	
評価項目および判断基準	配点
1. 企画提案に関する項目【80点】	
① 企画内容は、台湾人観光客の誘客に繋がるような提案となっているか。	20
② 取材スポットは台湾人観光客の誘致にあたり有効な選定となっているか。また、その理由が明確となっているか。	20
③ 招請インフルエンサーは本事業の目的を達成するための適正なファン数や実績を有しているか。	10
④ 適切な配信内容(配信形式, 配信サイト, 配信回数など)となっているか。	10
⑤ 招請時期は台湾人観光客の誘致にあたり有効であると考えられるか。また、その理由が明確となっているか。	10
⑥ 実施スケジュールは実効性があり妥当か。	10
2. 提案価格に関する項目【10点】	
⑦ 提案内容が適切に計上されているか	10
3. 事業者に関する項目【10点】	
⑧ 事業を適切に実施できる体制があり、類似事業に取り組んだ実績があるか。	10
合 計	100

審査項目ごとに、各委員(3名)の評価点を加算し、その合計値を、審査項目の評価点とする。評価点の合計が最も高く、最低基準(得点率70%)以上の1者を最適提案者として選定する。なお、該当者が2者以上あったときは、審査項目①, ②, ③, ④, ⑤の評価点の合計が高い者を最適提案者として選定する。その場合においても、該当者が2者以上あったときは、審査委員長に選定を一任する。

委員の各審査項目評価方法は次のとおり。

《採点段階区分表》

段階	当該項目の評価	係数	例示(仕様書に要件が定められている場合)
A	優れている	1.0	仕様書の要件以上の優れた内容となっている。
B	やや優れている	0.8	↑
C	普通である	0.6	仕様書の要件を満たした内容となっている。
D	やや劣っている	0.4	↓
E	劣っている	0.2	仕様書の要件を満たしていない。